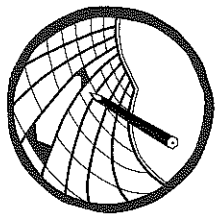


自由な発想で
書いてみよう!

応募要項



第1回

作文コンクール

全国小・中学校

全国小・中学校作文コンクールは、ノーベル賞作家・川端康成や童話作家・坪田譲治らを審査員に迎え、1951年にスタートしました。国内外から3万点を超える応募がある、日本一の作文コンクールです。教科書に掲載されたり、テレビドラマや映画化される作品も数多く生まれています。

主催 | 読売新聞社 後援 | 文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会
協賛 | JR 東日本、JR 東海、JR 西日本、日本テレビ放送網、日本書芸院、光村印刷
協力 | 三菱鉛筆
【お問い合わせ】 読売新聞東京本社 作文コンクール事務局 TEL: 03-3216-8598 (平日10時～17時)

締め切り
2021年
9/8水
必着

応募規定

「応募資格」

国内の小・中学校および海外の日本人学校に在学する児童・生徒

「テーマ」

テーマは自由。ふだんの生活や学校で感じたこと、体験したこと、創作物、読書感想文など広く募集します。

応募方法

今年度よりホームページから

応募登録が必要です。

<https://info.yomiuri.co.jp/contest/edu/sakubun.html>

ホームページは右記QRコードからアクセス。
または  読売  作文コンクール



「枚数制限」

枚数制限を設けています。ご注意ください。

【小学校低学年の部】

400字詰め原稿用紙(表紙を除いて)10枚以内

【小学校高学年の部】

400字詰め原稿用紙(表紙を除いて)20枚以内

【中学校の部】

400字詰め原稿用紙(表紙を除いて)30枚以内

※応募登録されていない場合は、審査対象から除外となりますのでご注意ください。

※応募登録ができない、うまくいかない場合は、上記の作文コンクール事務局にお問い合わせください。

ご登録いただいた、作品タイトル、名前、学校・学年、指導教諭名は、受賞者発表時にそのまま掲載します。正確にご登録ください。

1. 400字詰め原稿用紙を使用してください。

2. 作品を書き上げた後、ホームページにアクセスして、保護者とともに、必要情報を登録してください。

- 学校(名称、電話番号、FAX番号、指導教諭名)
- 応募する児童・生徒(名前、学年、保護者のメールアドレス)
- 作品タイトル

3. 応募登録が完了すると、ご登録いただいたメールアドレスにIDとパスワードが送信されます。

IDを中面にある応募票に必ず記載してください。
登録情報と作文原本を照合します。

4. 原稿用紙表紙に応募票をのり付けして、作品と合わせて右上端をホチキスで留めてください。

応募票にIDや必要事項の記入漏れがないかご確認ください。

今後の受賞通知等の連絡は指導教諭の先生を窓口とさせていただきます。

個人応募の場合も、学校を通してご連絡しますので、応募票に担任教諭名等をご記入ください。

5. 応募票を表紙に添付した作品を、応募要項裏面にある都道府県別の応募先へお送りください。

送付先の詳細は上記ホームページに掲載しています。
封筒の宛名に「作文コンクール係」と明記してご送付ください。

保護者のみなさまへ

「全国小・中学校作文コンクール」は、今年度よりホームページから応募登録が必要となります。右記のURLにアクセスいただき、ご登録いただけますようお願いいたします。

<https://info.yomiuri.co.jp/contest/edu/sakubun.html>



1. 児童・生徒のみなさまが作品を書き上げます。
2. 応募登録 ※応募登録が完了すると、ご登録いただいたメールアドレスにIDとパスワードが送信されます。
3. 発行されたIDを下記の「応募票」に記入してください。
4. 応募票に他必要情報を記入してください。
5. 作品の表紙として「応募票」をのり付けし、作品とまとめて右端をホチキスで留めてください。
6. 作品を応募先へ送付してください。
(学校単位で応募する場合には学校へ提出してください。)

【作品応募方法】

- 原稿用紙表紙に、応募票を剥がれないようのり付けする。
- 応募票をのり付けた原稿用紙表紙と作品を合わせて右上端をホチキスで留める。

※作品は2枚目から始めてください。

右上隅にホチキス

2枚目から始めてください

応募票を貼り付ける



第71回

作文コンクール【応募票】

全国小・中学校

- 事前にWeb登録をお済ませください。IDとパスワードが発行されますので、IDを応募票にご記入ください。
- 必要情報をご記入の上、原稿用紙1枚目に貼り付けてください。作品は2枚目から始めてください。
- 応募票が剥がれると審査できません。作品の表紙にしっかりとのり付けしてください。

ID							
応募部門	小学校低学年・小学校高学年・中学校 (いずれかに○をつけてください)						
作品タイトル							
名前							
学年		作品枚数					

※表紙を除く

個人応募の場合も、学校を通してご連絡しますので、担任教諭名等をご記入ください。

<指導教諭記入欄>

- 下記の必要事項を記入したコピーを児童・生徒のみなさまに配布してください。

学校名	
学校電話番号	
学校FAX番号	
指導教諭名	

「部門&賞」

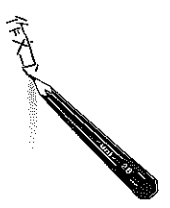
小学校低学年・同高学年・中学校の3部門
各部門ごとに

- 文部科学大臣賞(1編)
賞状、トロフィー、図書カード1万円分
- 読売新聞社賞(3編)
賞状、トロフィー、図書カード5千円分
- JR賞(1編)
賞状、トロフィー、図書カード5千円分
- 日本テレビ放送網賞(1編)
賞状、トロフィー、図書カード5千円分
- 日本書芸院賞(1編) *文字の美しさも評価対象とします。
賞状、トロフィー、図書カード5千円分
- 入選(3編)
賞状、トロフィー、図書カード3千円分

「審査」

都道府県審査を行い、各部門で最も優れた作品が中央審査に進みます。

《中央審査委員》(敬称略、予定)
梯久美子(ノンフィクション作家)
石崎洋司(児童文学作家)
新藤久典(元国立音楽大学教授)
真神雅堂(日本書芸院理事長)
木村通子(日本書芸院常務理事)



「発表」

都道府県審査の結果は、2021年11月に読売新聞地域版で発表します。また12月上旬に中央審査の結果(受賞者全員の氏名と受賞作品の一部)を全国版に掲載します。
中央表彰式は12月4日に東京都内で実施予定です。

「優秀作品集」

入賞作品は「優秀作品集」として出版されます。
第70回の入賞作品を収録した優秀作品集は、通販サイト「MARUYODOI」(<https://maruyodo.jp>)から購入できます。
第71回の優秀作品集は2022年3月に発行予定です。

注意事項

- 応募作品は自作の未発表作品に限ります。二重応募(類似作品を含む)は固くお断りいたします。応募作品について、盗作等による著作権侵害の争いが生じても、主催者は責任を負いません。
 - 応募は1人1編に限ります。
 - 鉛筆(または2B)で濃く書いてください。応募する児童・生徒の自筆に限ります。パソコン等を使用した作品は認めません。ただし、筆記が困難な場合には許可することがあります。
 - 絵・写真などを使用した作品は認めません。
 - 規定外の作品は審査対象から除外しますので、ご注意ください。
 - 応募作品は返却しませんので、必要な場合は事前にコピーをしてください。
 - 入賞・入選作品の著作権は主催者に帰属します。優秀作品は読売新聞で紹介するほか、主催者、協賛社のホームページで紹介、テレビ、ラジオ、雑誌、書籍、電子書籍、教材や国内外の出版物などに使用されることがあります。
- ※記載いただいた個人情報(受賞者への連絡、作品に関する問い合わせ、取材、受賞者発表のみに使用します。

都道府県別 作文応募先

北海道東北		中部		中国四国	
北海道	読売新聞 北海道支社 総務部事業	新潟県	読売新聞 新潟支局	鳥取県	読売新聞 鳥取支局
青森県	読売新聞 青森支局	富山県	読売新聞 富山支局	島根県	読売新聞 松江支局
岩手県	読売新聞 盛岡支局	石川県	読売新聞 金沢支局	岡山県	読売新聞 岡山支局
宮城県	読売新聞 東北総局	山梨県	読売新聞 福井支局	広島県	読売新聞 広島総局
秋田県	読売新聞 東北総局	長野県	読売新聞 長野支局	山口県	読売新聞 山口総局
山形県	読売新聞 山形支局	岐阜県	読売新聞 岐阜支局	徳島県	読売新聞 徳島支局
福島県	読売新聞 福島支局	静岡県	読売新聞 静岡支局	香川県	読売新聞 高松総局
関東		愛知県	読売新聞 中部支社	愛媛県	読売新聞 松山支局
茨城県	読売新聞 水戸支局	三重県	読売新聞 津支局	高知県	読売新聞 高知支局
栃木県	読売新聞 宇都宮支局	滋賀県	読売新聞 大津支局	福岡県	
群馬県	読売新聞 前橋支局	京都府	読売新聞 京都総局	佐賀県	読売新聞 佐賀支局
埼玉県	読売新聞 さいたま支局	大阪府	読売新聞 大阪本社 文化事業部	長崎県	読売新聞 長崎支局
千葉県	読売新聞 千葉支局	兵庫県	読売新聞 神戸総局	熊本県	読売新聞 熊本支局
東京都	作文コンクール東京部 事務局	奈良県	読売新聞 奈良支局	大分県	読売新聞 大分支局
神奈川県	読売新聞 横浜支局	和歌山県	読売新聞 和歌山支局	宮崎県	読売新聞 宮崎支局
		海外	作文コンクール海外 事務局	鹿児島県	読売新聞 鹿児島支局
				沖縄県	読売新聞 那覇支局